

稽古場からの情報 第2弾!

京浜協同劇団 第94回公演 特別公演

今、出演者がどんな思いで稽古に臨んでいるのか紹介します。

狂言芝居:二題



◎「お告げの妻」(因幡堂)
今年芝居が出来ないと諦めていたその時、どこからか声が、まさかお薬師様が……? 何? 「お告げの妻」何じゃそりやあ。台本を読んだら面白い。何じゃこりやあ。
二つ返事で引き受けた……ものの初めての狂言芝居、しかも何とセリフも多い、大丈夫か? うむ、男の心と大仏の柱は太ければ太いほど良いものじゃ。芝居とは何十年やつてもそんなもんだと腹をくくるしかあるまい。よし、義理でも良いから笑っていたら。 (小川が三つ)



◎「なろうことかな」(寝替)
今年7月の、演劇まつり「冒険者たち/ガンバと15ひきの仲間」も11月に予定されていた「おりん」も中止になり、寂しい思いをしておりました。そんな時、この公演のオファーがありました。表現の場所を頂いた喜びで、二つ返事でお受けしました。稽古が始まり楽しく、苦しい時間を過ごしてあります。どんな作品に仕上がるものやら。お楽しみ頂けたら幸いです。 (川西玉枝)



◎「なろうことかな」(寝替)
一つのウイルスによって社会全体のルールや日常そのものの価値観も変わってしまったと思います。そのような中で公演は、古い生活価値からコロナへの挑戦状です。「コロナへの不安と演出」の演技の不安もありますが、チャレンジし続けます。 (田中耕一)



◎「なろうことかな」(寝替)
かれこれ二十数年前、同じ役をやらせていただきましたのですが、こんないろいろなことを考えていたのかと思ひ、今さらながら大変だったのだなあ、あ〜と思ひます。あれから二十数年、皆さん、歳を重ねて今回の舞台となりました。さてさて、いかなる事になりますやら (宮原喜美子)



◎「お告げの妻」(因幡堂)
私は朗読が好きです。自分自身でもグループに入って朗読もしています。朗読会にもよく行きますが、今回は笑劇場なので、そうはいかない。今、苦勞してあります。でもきつと実を結べると思ひます。 (瀬谷やほこ)

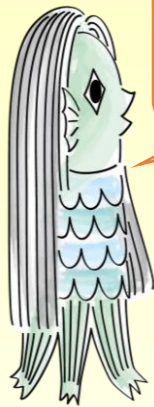
朗読

コロナ退散!

笑劇場



ご来場はマスク着用をお願いします



落語とマジック

◎「笑劇場」で多くに人との出会いがあることワクワクしており、よろしくお願ひ致します。 (吉武マリン)



漫才(その&トシ)



◎「その&トシ」
「えっ! 今度は漫才?」前回「おりん」に出させて頂いた時は、普段の自分を、ハッマーが何かで粉々にされた感じがあるのですが……今回、役者として、もうひと皮剥けることができそうです。うか。相手のトシちゃんとも挑みます。 (大谷敏行)



◎「その&トシ」
演劇を含めパフォーマンスは心の栄養剤! 未曾有の災厄「コロナ禍」で心身が疲弊する中、ひとときの癒しをと、盛沢山の催し物を、企画致しました。コロナ対策は万全を期してお迎え致します。劇団一同 (大谷敏行)

腹話術

◎「その&トシ」
腹話術の上演回数日本一となりました。東京新聞で私のゴローちゃん旅日記を月に1、2回、9月から1年間連載中です。ゴローちゃん「回数じゃないよ。問題は、中身だよ」 (しろたに まもる)



11月	21 (土)	22 (日)	23 (祭)	28 (土)	29 (日)
11時	●	●	●	●	●
15時	○	○	○	○	○

会場 = スペース京浜

※ コロナ対策は万全です。毎回場内の換気、座席は密を避けて配置、開演前の消毒により、安心して観劇していただけるように配慮しています。

プログラムの詳細は、こちらのQRから。



お申し込み順にチケットをお送りします。全予約制です。只今受付中です。

制作ニュース

京浜協同劇団 / 発行: 2020年10月

予約受付中 ☎ 044-511-4951 Fax 044-533-6694